




## 全国財務局長会議 席上配付資料

- I. 最近の福岡財務支局管内の経済情勢
- II. 事例紹介

令和8年4月22日  
福岡財務支局








# I . 最近の福岡財務支局管内の経済情勢

# I. 最近の福岡財務支局管内の経済情勢

	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	<b>一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある</b>		個人消費は、回復のテンポが緩やかになっている。生産活動は、はん用・生産用機械の生産活動に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	回復のテンポが緩やかになっている	<b>回復のテンポが緩やかになっている</b>	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	<b>緩やかに持ち直しつつある</b>	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	<b>緩やかに持ち直している</b>	
設備投資	7年度は減少見込み	<b>7年度は減少見込み</b>	
企業収益	7年度は増益見込み	<b>7年度は減益見込み</b>	
住宅建設	前年を下回っている	<b>前年を下回っている</b>	
輸 出	前年を上回っている	<b>前年を上回っている</b>	

※1. 8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

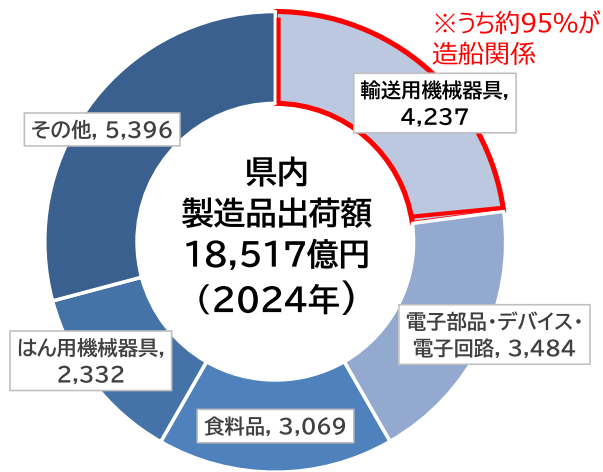
※2. 各項目の詳細については、「全国財務局管内経済情勢報告概要」を参照。

## II. 事例紹介

## II. 事例紹介 長崎県の造船業の現状

### 長崎県の造船業

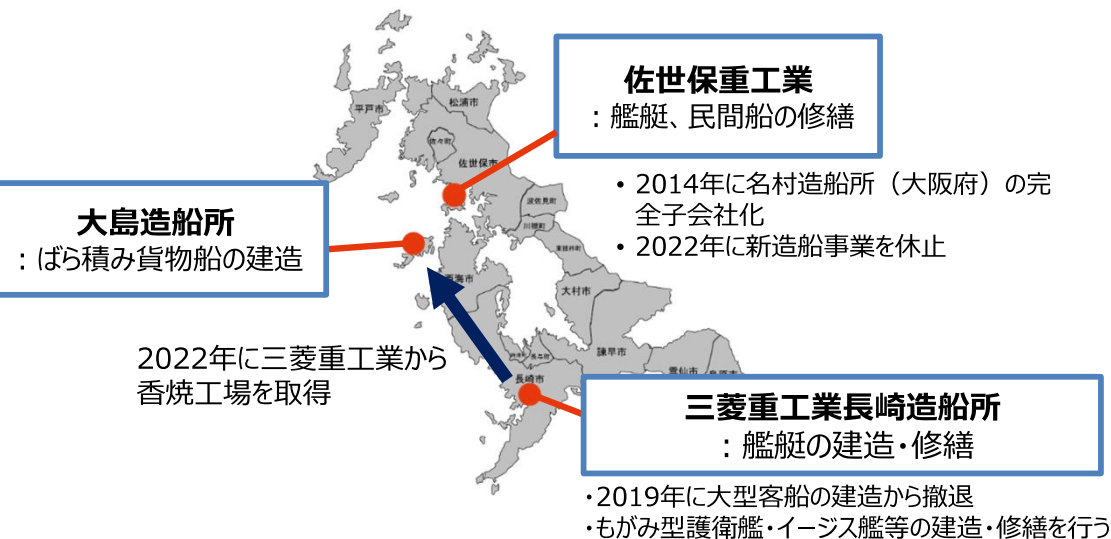
- ✓ 幕末、幕府が日本初の艦船修理工場「長崎鎔鉄所」を設立して以来、造船業が基幹産業として発展
- ✓ 現在は、民間船、艦艇・巡視船などに加えて環境対応船など幅広く建造・修繕を行っており、県の経済と雇用を支える
- ✓ 造船関連の製造品出荷額は、広島県、愛媛県に次いで3位



出所：2024年経済構造実態調査

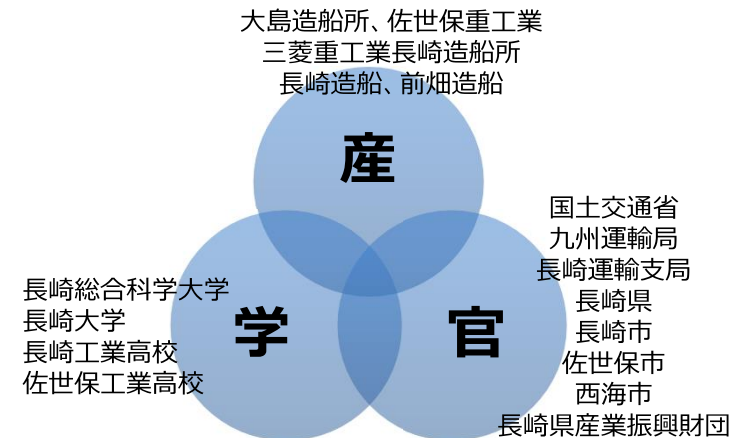
### 県内の主要造船所

下記3社を中心に、150社を超える関連企業がサプライチェーンを形成



### 長崎県による取組

R7年6月、「**長崎県造船振興連絡会議**」を設立（事務局：長崎県）  
（県下全域を対象にする会議体は全国初）  
造船業の**魅力発信**や**人材確保・育成**に取り組み、**今後の人材確保につなげる**ことを目的とする



第1回連絡会議



造船所見学会

～具体的な取組内容～

- ・ 児童・学生、保護者向け見学会
- ・ 高校、大学での造船関連講座・授業
- ・ 県の広報誌等での造船業PR
- ・ 国や県外大学と連携した造船業のPR

産学官が連携して、**日本一の造船県を目指す**  
（人材確保・育成に加えて、県の取組として職場環境改善、生産性向上にかかる設備投資等の支援を推進）

## Ⅱ. 事例紹介 大島造船所の人材戦略



設立：1973年 社員数：1,735名（2026年3月末）  
資本金：56億円 売上高：2,037億円（2025年3月期）  
株主：ダイゾー(64.1%)、住友商事(35.9%) 本社：長崎県西海市大島町



### 事業概要

#### 沿革

1973年、大阪造船所（現：ダイゾー）が船舶大型化に対応するため、大島町に造船所を設立（炭鉱時代の埋立地等を活用）

#### 【船舶の建造】

- 国内建造量第3位
- 中小型ばら積み貨物船建造に特化
- 高速建造による高い生産効率



ばら積み貨物船（鉱石や穀物等の輸送に利用）

#### 【鋼構造物等の製作】

- 橋梁等の建設・修繕

#### 【農産事業】

- 大島トマト等の生産



大島大橋

### 生産体制強化

#### 【環境対応船への積極的な取組】

- LNG燃料船、アンモニア燃料船、ウインドチャレンジャー搭載船等の開発・建造（「ゼロエミッション船等の建造促進事業」に採択）

#### 【新規ビジネスへの参入】

- 浮体式洋上風力発電の浮体基礎の製造（「GXサプライチェーン構築支援事業」に採択）

#### 【工場の拡張】

- 三菱重工業から香焼工場（長崎市）を取得
- 大島工場に隣接する埋立地を西海市から取得

#### 【自動化・省力化投資】

- 溶接ロボット等の活用

### 人材確保策

#### 【地域教育機関との連携】

九州大学・長崎大学・長崎工業高校・佐世保高専と共同研究、寄付講座等の実施  
➔ 技術の伝承・人材育成

#### 【キャリア・カムバック採用】

カムバック採用専用サイトを開設 ➔ 元社員との協働や中途採用などを進める

#### 【外国人の登用】

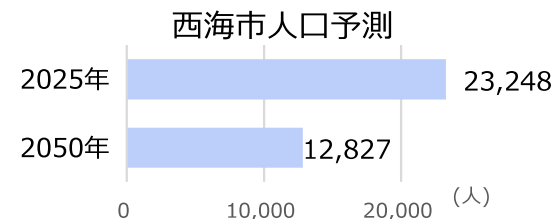


各国に採用担当者を派遣し、リクルート活動を実施  
寮費の免除などの支援策を実施

### 地域振興・定住促進への貢献

長崎県  
西海市  
長崎市

各自治体と連携協定を締結  
➔ 人材確保・造船関連産業  
振興・地方創生等で協力



出典：国立社会保障・人口問題研究所

#### 【西海市の地方創生を考える会】

西海市、十八親和銀行と設立。様々な地域課題の解決策・活性化策を議論



複合施設のイメージ

旧大島中学校跡地に  
飲食店、フィットネスジム、屋内遊具施設、子育て支援施設  
を備えた複合施設を建設予定  
(2027年春開業見込み)  
(長崎県産炭地域振興財団から3億円の助成)

写真提供：大島造船所 6